

広報 ちえなっぴ

※アーチルは「仙台市発達相談支援センター」の愛称です。  
子供から大人まで、発達障害のある方の支援を行っています。  
※ちえなっぴは「CHIN UP!（前を向いて）」の意味です。



# CHIN UP



## 「地域とともにすすめる発達支援」

アーチルでは、本人・家族、支援者、有識者等で構成される「発達障害者支援地域協議会」を開催しています。この協議会の中で、特にしっかりと話し合った方がよいテーマについては、作業部会を設けて協議しています。今年度から始まった作業部会のテーマが「地域とともに進める発達支援」です。

アーチル開所から22年経った今、以前と比べて利用できる障害福祉サービスの種類が増え、サービスを提供する事業所数も増加しています。複数の事業所を利用しているお子さんも多くなり、以前よりもたくさんの事業所と一緒に、お子さんや保護者の支援について考えていくことが求められています。併せて、国はインクルージョン推進も謳っており、幼稚園や保育所、学校、児童館等お子さんが日々通う施設も一緒に、支援について考えていくことも今まで以上に期待されています。

このように、地域の様々な方々と一緒に「お子さんの将来を見据えて、今必要な支援は何か」を考えていくことを強く求められている今だからこそ、今の時代に新たに求められること、時代が変わっても変わらずに大切にすべきこと等を再考しながら、発達支援のあり方について考えていきたいと思っています。

なお、令和7年3月6日開催予定だったアーチル療育セミナーで、豊田市こども発達センターの高橋脩先生をお招きして、このテーマで講演いただく予定でしたが、当日発生した東北新幹線車両事故のため、セミナーは急遽中止とさせていただきます。せっかく会場に足を運んでいただいた多く皆さま方にお詫び申し上げます。代替案実施の可否も含めて検討中ですが、決まりましたらアーチルホームページでお知らせいたします。



北部アーチル 所長  
蔦森 武夫



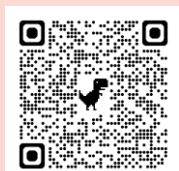
## 『医療的ケア児者の災害時の備え

### ～体験談と情報～』を作成しました！

仙台市では、「仙台市医療的ケア児者地域支援連絡会（以下、連絡会）」を開催し、医療的ケアや重症心身障害のある方の支援について、当事者、家族、関係機関の支援者等による情報共有や検討等を行っています。

連絡会では、医療的ケア児等コーディネーター（※）を中心に作業部会を設け、災害時の備えのための冊子と情報サイトを作成しました。ご本人、ご家族、地域の支援者様にとって、災害時の備えについて考えるきっかけになればと願っております。

（※）医療的ケア児等コーディネーターとは  
医療的ケア児等に関する専門的な知識を持ち、お子さまの生活と育ちを総合的に考えながら、お子さまに合った福祉等のサービス利用について、保護者さまやお子さまと共に考える支援者のこと。

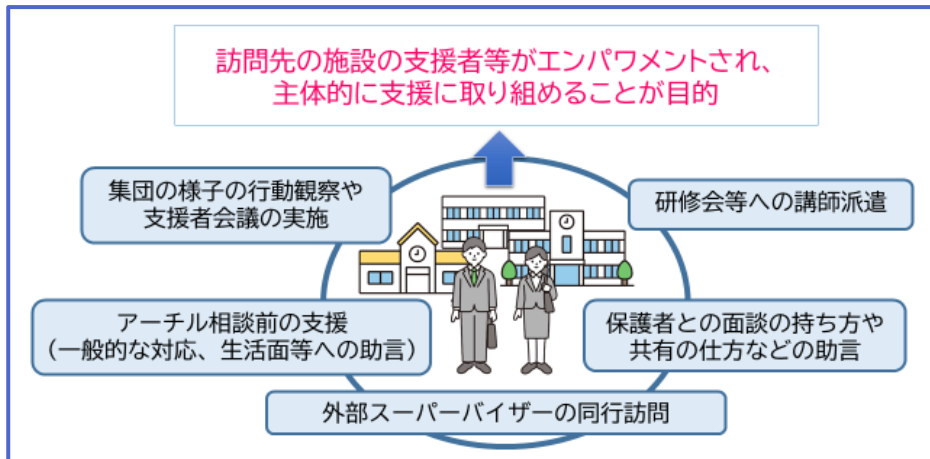


『オンライン上の専用ページ』はこちら▶▶

## 施設への訪問等による「地域支援」を進めています

近年、福祉分野だけでなく、保育施設や学校など子育てや教育の分野においても、発達特性について広く認知されるようになりました。こども達の多様なニーズに応じて行くためには、専門機関の来所相談によらずとも、地域の中でこどもの困り感を見取り、日常の過ごしの中で合理的配慮等の必要な支援が届けられる体制づくりを進めることが重要です。

アーチルも地域に出向き、様々な施設の皆さまと一緒に支援を考えて行くために、令和5年度より「地域支援担当職員」を配置しました。担当職員の配置によって、タイムリーかつ柔軟な訪問や、継続した助言等もできるようになりました。訪問先の支援者からは「職員が日々の支援に自信が持てるようになった」「施設全体で支援の視点を共有したことで、支援のスキルアップにつながった」といった声をいただいています。



引き続き、各関係機関と連携しながら、身近な地域での支援体制づくりに取り組んでまいります。



## 「発達障害のある大学生支援」のネットワークづくりをはじめました

アーチルでは、「はたらく」「くらす」「たのしむ」を大切にしながら、当事者の方が「こうありたい」という願いを実現することを目指して、相談支援を行っています。

近年、大学生からの相談が多く寄せられています。相談内容は学校の授業、一人暮らしの生活、人間関係、進路や就職など様々です。「大学から就労までの移行期」にどんなサポートがあると、ご本人が安心して充実した生活を送れるのだろうかと考えてきました。

関係機関の方にヒアリングを行ってきましたが、多くの方から「機関同士が繋がれる場がほしい」というご意見をいただきました。また、ヒアリングを通じて、各機関で素晴らしい工夫や取り組みが行われていることが分かりました。

そこで、令和6年12月に大学、相談支援機関、就労支援機関での情報交換の場として、「発達障害のある大学生支援を考える会」を開催いたしました。関係機関の方から、実際に行っている大学生支援の取り組みの実践報告をいただき、その後グループワークで意見交換を行いました。非常に活発な意見交換で、参加者の方から「また参加したい」という声を多くいただきました。今後も情報交換とともに、各機関で実践している「よい取り組み」を学び合っていく場としていきたいと思ひます。



### 《発行・連絡先》

仙台市北部発達相談支援センター 電話:022-375-0110 FAX:022-375-0142

仙台市南部発達相談支援センター 電話:022-247-3801 FAX:022-247-3819

### 《ホームページ》

<https://www.city.sendai.jp/kikakusomu/kurashi/kenkotofukushi/shogai/shien/shiencenter/sodanshien/index.html>

※この広報紙についてのご意見・お問い合わせは北部アーチルまでお願いします。